

ひろば  
大代

平成四5,14

大代公民館

母の日

(五月十日)



大代公民館

五月の第二日曜日が母の日ときめられ、母に感謝を捧げるといふ行事が行われるようになりました。

これは、アメリカのある婦人が亡き母をしのび、その愛情に感謝する気持ちとしてカーネーションの花束をささげたということが、周囲の人々を感動させ、やがてアメリカで母の日が定められ、わが国でもこのゆかしい行事がひろく行われるようになったのです。

毎月の生活の中で尊いかけの力となつてくださるお母さん、母の日には子供たちもお父さんも真心こめて、

「お母さんありがとう。いつまでも元気でいてください」

と、家族みんなでお母さんに花束を捧げられる大代町の家庭を作りたいものです。

関西高山会発足にあたって

関西高山会事務局長

中本 弘

諺に生みの苦しみが大きければ大きい程、成就した感激は大きいと言う。関西高山会の発足もまさにその通りであつた。

そのきっかけは、平成二年八月の「都市とふるさとを結ぶ交流会」に私は出席し、東京石見高山会がすでに結成されているのに大阪を中心に関西にその組織がないのはおかしいではないかの疑問だつた。

東京より大阪を中心に大代町出身者が多い、早く結成されるのが本筋ではないか。そう思うと、生来の虫、良く言えば積極性、悪く言えばややおせっかいな面の心の虫が騒ぎ始めました。自分達がしなければ誰がするのか、今回出来なければ今後は難しくなるのではないかと危機意識を持つてことにあつた。

先ず、名称、会長を決めようと市原宗氏、田辺正義氏、曾根幸市氏、私の四名で会合し、関西高山会と決め会長は市原宗氏に快く引き受けて頂いた。

その後この会を継続していく為には会則が是非必要である。

東京石見高山会の会則を土台に目的の中に恩師と語り合う会を入れ、一味工夫をして出来上がった。

平成四年に入り、結成総会までに連絡をと名簿を公民館にお願ひした。その名簿に基づき葉書約百五十枚出したが転居不明、欠席ばかりで出席の便りが来ない。二月の初めに郵送し、三月に入つても十名余りの出席者であつた大代町から来阪される人員より少なくなつたら大変、まだ締め切りまで半月あるとはいへ、大丈夫かと不安が心の中に残る。人事を尽くして天命を待とう会長、田辺、曾根両氏にも出席方の指勵、その声は大代町にも反映し親元からも連絡して頂いた結果、締め切り日には五十名近くの出席の返事が来た。最後に会場、料理の件、最終打合せを会場で実施した。三月二十二日の結成総会が成功して出席した皆さんが次回も是非出席してやろうという雰囲気づくりをしたが、何しろ初めてであり、ぶっつけ本番、役員各自とも一抹の不安を持ちながら総会に臨んだ。

総会の結果は田辺公民館長さんのお言葉のように、盛大でなごやかな雰囲気、めでたし、その目的は達成出来た。尚最後に今回の総会が成功に終わったことは大代町の皆様、東京石見高山会そして関西高山会この三つが三位一体となった賜であると確信する。

関西高山会も今ときの声を上げたただけである。更なる発展と継続はこれからである。役員一同心に銘記し、頑張り抜く覚悟である。

更なる御支援と御協力を伏してお願ひ致します。

「好きやねん関西高山会、好きやねん大代町」

※先般三月二十二日、関西高山会結成発足にあたって事務局長の中本弘氏よりご寄稿がありました。五月号に掲載させて頂きました。

### 相伝相続

公民館長 田辺 孝

人生とは何ぞという広漠たる問題に私は答えることはできない。しかし自分の半生をかえりみて、私を一人間として育ててくれたもの、現に育ててくれつつあるその条件ではなからうか。

私は自分一個の力で生きていくわけではなく、自力で成長しているわけでもない。書物を通して接したさまざまな先師、あるいは現存している先輩、友人の導きによって人間と成ってきたわけで、条件とはつまり相伝相続によって人生はあるのではなからうか。関西高山会発足にあたって想う。

### 「大代町交通安全

を考える会」発足！

交安協会長 市原仁郎

最近粘土を積んだダンプカーがうら6台連なつて町内を走り抜け、正にダンプ公害の難を呈しています。

去る4月23日午後1時35分頃、井田横道の県道でダンプカーがセンターラインを越え、江津の中元クリーニング店のワゴン車と正面衝突、クリーニング店の運転手は左ヒザの損傷などで6週間の大けがを負うと言う事故が発生しました。

このままで行けば大代町内での事故もあり得ると言う事で4月27日、大代の各種団体長が集まり対応を協議しました。そこで表記の会を発足させ、協



力な住民運動を展開すべきとの結論に達しました。翌28日、会では実態調査を行ない、午前6時〜8時、9時〜11時30分、午後12時半〜4時半の計8時間30分の調査の結果、粘土を積んだ車が29台通過した事を確認しました。午前中128台、午後101台で、青ナンバーは119台、白ナンバーは110台でした。会ではこの実態をふまえ、5月2日大田警察署の尾添交通課長、山根係長、前田部長、更に石州瓦工業組合副理事長の伊藤章雄氏に陳情、そして5月6日には県大田土木建築事務所の佐藤所長、佐藤工務課長に実情を訴え陳情をしました。更に邑智町の3カ所の採掘現場を視察しました。

会では町民の生命の安全と幸福を守る為に皆様方の協力を得ながら運動を展開して行きたいと考えています。

尚、会の役員は次の通りです。

会長 後藤 正 (交対協)

副会長 市原仁郎 (交安協)

役員 田辺 孝 (公民館長)

高村 貢 (連合自治会)

高村利乗 ( )  
渡 寛之 (寿会)

役員 後藤マサエ（婦人会）

〃 竹本 謙（消防団）

〃 笹木光夫（中PTA）

〃 日向高弘（小PTA）

〃 永井利樹（幼PTA）

〃 永井吉一（前連合自治会長）

花にかこまれ

編集委員 後藤マサエ

花って不思議

春から初夏にかけての大代

花、花、人の心の余裕さえ

街並み野辺に 集会所に

花、花、あふれるこの季節に

チューリップ（愛の告白）なの花

かすみ草（清い心）パンジー（私を

想って下さい）ガーベラ（神秘）

マーガレット（真実の愛）紫根草

赤いバラ（愛情）レナンキラス

カーネーション（貞節）サフィニア

小さな花の心がわかるのも楽しみが

倍、そして私が華やぐ。

外国では花を贈る時に花ことばを通

じて自分の心を伝えるという習慣があ

るそうです。私達も花にかこまれ優雅

な習慣を大切にしたいものですね。



### 児童福祉週間

児童に対する正しい観念を

#### ◎児童憲章

児童は人として尊ばれる

児童は、社会の一員として重んぜ

られる

児童はよい環境の中で育てられる

5月5日（子供の日）幼稚園、小学

校、中学校の子供達と一緒に大代町右

原、中垣土夫さん宅付近川辺で、楽し

く飯盒炊飯や魚釣りを行いました。

子供達も手伝っておいしいカレーが

出来上りました。その後、水遊びをし

て、初泳ぎを楽しんだ子がいたり。

自然の中で思いっきり遊び、楽しく

一日を過ごしました。

この日、松井幸様、井谷英美様、今

田文字様三名の少年輔導委員の方々か

ら、子供達にジュースを頂きました。

厚く御礼申し上げます。

おしらせ

（公民館への上り口の手すり出来る）

念願であった岡医院、横から公民館

広場へのコンクリート道の手すり、

四月二十七日完成致しました。

これは市社会教育課と交通対策協議

会の援助によるものです。この手すり

のお陰で公民館に来られる方も一段と

楽になると思います。関係者の方々に

感謝申し上げます。（市原記）

（大江高山登山の案内板出来る）

東京石見高山会前事務局長・米原光

義氏の御協力により山田側、飯谷側の

登山道入口の案内板が取り付けられま

した。岡山県からの登山者もあり、今

後登り易くなると思います。高山開発

の第一歩と位置付けと今後開発運動を

進めて行きたいと思えます。

（市原記）

#### ◎編集後記

この度の役員改選で新しく「ひろば

大代」の編集委員が決まりました。

◎日向高弘 田辺 幸 高崎 脩

飯田 徹 後藤マサエ 横田美恵子

以上六名、二年間、皆様のお手元へ

館報と共に大代町の情報、近況などお

知らせ致しますので皆様ご協力